

令和5年産りんご着果状況及び黒星病発生状況等調査結果

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和5年産りんごの着果状況及び黒星病の発生状況を調査し、高品質りんご生産のための指導に活用する。

(2) 調査月日

令和5年7月19日（水）～20日（木）

(3) 調査地点

72地点（津軽64地点、県南8地点）

(4) 調査品種

5品種（ふじ、ジョナゴールド、つがる、王林、トキ）

(5) 調査機関

全農青森県本部、（公財）青森県りんご協会、（地独）青森県産業技術センターりんご研究所、県

2 調査結果

(1) 着果状況

県全体の着果率は、園地によってバラツキがあるものの、いずれの品種も標準着果率を上回っている。

(2) 障害果及び黒星病発生状況

一部園地でつがるにサビ果が見られた。黒星病の被害果はほとんどなかった。

<着果状況>

(単位：%)

品 種	着果率			標準 着果率
	本年	平年	前年	
ふ じ	32.9	31.4	35.3	25.0
ジョナゴールド	33.5	32.9	37.0	28.6
つがる	36.6	36.2	41.3	28.6
王 林	36.7	35.4	42.1	25.0
ト キ (参考)	34.2	—	39.4	25.0

注) 平年値：平成5年～令和4年までの30か年の平均

標準着果率：県が基準とする適正な着果程度